

平成 23 年 2 月 10 日

各 位

東京都港区赤坂一丁目 1 1 番 4 4 号  
株式会社リサ・パートナーズ  
代表取締役社長 田中敏明  
(コード番号：8924 東証1部)  
問合せ先 執行役員財務本部長 春山昭彦  
電話番号 03 (5573) 8011 (代表)

特別損失の発生及び通期業績予想との差異に関するお知らせ

当社は、以下の通り、特別損失を計上するとともに、平成 22 年 10 月 29 日付で発表いたしました平成 22 年 12 月期（平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日）通期の連結業績予想との差異が発生いたしましたので、お知らせいたします。

1. 特別損失の発生とその内容

当社は、平成 22 年 12 月期決算において以下の特別損失を計上いたします。

事業構造改善費用	10,498 百万円
----------	------------

当社は、平成 22 年 10 月 29 日付けリリース「NEC キャピタルソリューション株式会社による当社株券等に対する公開買付けに関する賛同意見表明のお知らせ」に記載の通り、不動産投資関連事業から撤退することといたしました。また、当社は、同日付けリリース「特別損失の発生並びに通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」に記載の通り、不動産投資関連事業から撤退するために、早期処分する予定の資産について、資産価値を処分価格にて再評価した結果、事業構造改善費用として 8,240 百万円を特別損失に計上しております。

今般、NEC キャピタルソリューション株式会社（以下「NECAP」といいます。）による当社株券等に対する公開買付けが成立したことにより、当社といたしましては、NECAP グループの事業戦略の中で抜本的な事業改善を推進する所存です。

そこで、その一環として事業構造の改善を早期に推し進めることとし、上記の処分予定資産に加えその他の保有不動産投資関連資産についても資産価値を処分価格にて再評価した結果、当第 4 四半期末においても、追加で事業構造改善費用として 10,498 百万円を計上することとなりました。

これらの結果、平成 22 年 12 月期通期決算における特別損失の合計は、19,611 百万円となりました。

2. 通期業績予想との差異（平成22年1月1日～平成22年12月31日）

(1) 通期連結業績予想との差異

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	15,600	4,400	2,200	△ 7,800	△25,739円52銭
実績 (B)	12,303	2,574	403	△ 19,948	△64,701円21銭
差異額 (B-A)	△ 3,297	△ 1,826	△ 1,797	△ 12,148	
差異率 (%)	△ 21.1	△ 41.5	△ 81.7	-	
(ご参考) 前期実績(平成21年12月期)	19,859	5,092	3,202	△ 2,786	△9,740円55銭

(2) 差異の理由

売上高、営業利益及び経常利益は、主として、当期中に売却を見込んでいた各種投資対象資産について、売却時期が翌期以降にずれ込んだため減額となりました。

当期純利益は、主として、「1. 特別損失の発生とその内容」に記載の通り、19,611百万円の特別損失を計上したため減額となりました。

以上